

事務事業実績測定調書

R5調書番号 131

事務事業名称	国民健康保険保健事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	健康福祉部				課	健康づくり課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち												
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち												
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	国民健康保険法				
関係補助金名称		サンセット		～	
関係附属機関名称	国民健康保険運営協議会				
事業対象	メインターゲット	75歳未満の市民で他の医療保険の被保険者・被扶養者でない人(生活保護受給者を除く)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	加入者に対する健康増進事業を行うことで、健康の保持増進が実現できている。				
事業概要	健康増進の意識啓発のために、啓発パンフレットやリーフレットの配布、骨密度測定や健康相談などを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		国民健康保険加入者が、健康増進の意識を持つ。				健康増進の意識啓発事業に、多くの加入者が参加する。				健康増進の意識啓発事業を実施する。				
指標設定	指標説明	健康講座参加者の理解度 【算出式:アンケートにより「理解できた」と回答した人/アンケート回収数×100】				健康講座参加者数				健康講座開催回数				
		単位		%	単位		人	単位		回				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	100	100	100	100	160	160	160	160	2	2	2	2
達成度	97%				89%				50%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.75
再任用	0.00
任期付職員	0.22
会計年度任用職員	0.90
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,935	7,972	6,973		
	会計年度任用職員	1,459	1,742	3,411		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,394	9,714	10,384		
物件費計	3,026	2,726	6,199	9,486	65.3%	
歳出計	10,420	12,440	16,583			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	174	2,726	6,199	6,380	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	174	2,726	6,199	6,380	
一般財源（物件費に充当されるもの）	2,852	0	0	3,106		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>目標値には達しなかったが、内容を理解したと回答した参加者が97.14%おり、多くの市民へ脂質異常症に関する知識の啓発・理解の向上を図ることができた。</p> <p>また、専門職2名（脂質異常症専門医と管理栄養士）による講座とすることで、講座内容の充実化を図ることもできた。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	健康増進に係る取り組みを継続していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 139

事務事業名称	健康づくり推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	すべての市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				
事業概要	<p>各種事業の実施</p> <p>①健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修(健康づくりボランティアの養成およびボランティアのスキルアップ)</p> <p>②地区組織活動(健康ボランティアが中心となった健康づくり活動)</p> <p>③健康増進計画推進事業(健康づくりを支援するためのイベントや取り組み・食育推進イベント)</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				健康づくりボランティアとして活動するための知識を学ぶ機会となる。				健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修を実施する。			
指標設定	指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				健康づくりボランティア数				健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修の開催回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	78	78	78	78	304	311	318	325	14	9	9	9
実績	96	93.22	92.85	95.14	266	235	211	182	9	7	7	8	
達成度	122%				56%				89%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が参加する。				地区組織活動を実施する。			
指標設定②	指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				地区組織活動への参加者数				地区組織活動の実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	78	78	78	78	3,753	3,826	3,899	3,972	130	130	130	130
	実績	96	93.22	92.85	95.14	601	1,072	1,992	1,322	41	57	96	65
達成度	122%				33%				50%				
ロジックモデル③		市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が参加する。				健康増進計画推進事業を実施する。			
指標設定③	指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				ウォーキングイベント参加者数				ひらかたカラダづくりトライアルマップ配付数			
		単位		%		単位		人		単位		枚	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	78	78	78	78	500	500	500	500	6,000	6,000	6,000	6,000
	実績	96	93.22	92.85	95.14	0	0	564	590	6,000	6,000	5,000	5,000
達成度	122%				118%				83%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.30
再任用	0.25
任期付職員	0.25
会計年度任用職員	0.15
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.50

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	16,814	19,842	20,613		
	会計年度任用職員	71	0	101		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	162		
	人件費計	16,885	19,933	20,876		
	物件費計	1,664	5,642	4,162	4,977	83.6%
歳出計		18,549	25,575	25,038		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	53	92	127	272	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)		53	92	127	272	
一般財源(物件費に充当されるもの)		1,611	5,550	4,035	4,705	

5. 総括的分析

総括的分析	第2次枚方市健康増進計画の最終評価を行い、健康づくりの取組の現状を評価すると共に、第3次枚方市健康増進計画を策定した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	第3次枚方市健康増進計画において、働く世代の健康づくりに課題が多いことが明らかとなった。過去や現在の生活習慣が、将来の自身の健康、子どもの健康に影響することを踏まえ、生涯を通じて健康づくりに取り組めるよう支援していく。第3次枚方市健康増進計画の内容にあわせて、ロジックモデルの見直しが必要。

事務事業名称	成人保健事業(がん対策事業除く)													
測定年度	2023(R5)年度				部	健康福祉部				課	健康づくり課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち												
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち												
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1983(S58)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	健康増進計画審議会				
事業対象	メインターゲット	健康増進法の対象となる市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病(がんを除く))について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				
事業概要	健康増進法第17条1項、第19条2による事業 健康手帳交付事業・健康教育事業・健康相談事業・訪問指導事業・住民健康診査事業				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				アウトプット (活動結果)	市民が健康手帳を日々の健康づくりに活用する。				インプット (活動)	健康手帳交付事業を実施する。			
	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				健康手帳配布者数				健康手帳作成数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	78	78	78	78	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000		
	実績	96	94.08	92.84	95.14	2,900	7,310	8,680	8,600	13,000	0	10,000	10,000		
達成度	122%				66%				77%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が参加する。				健康教育事業を実施する。			
指標設定 ②	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				健康教育参加者数				健康教育事業実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	122%				63%				71%			
	目標(見込み)	78	78	78	78	3,527	3,596	3,665	3,734	130	130	130	130
	実績	96	94.08	92.84	95.14	736	33,554	22,213	2,334	43	108	126	92
ロジックモデル③		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が健康について相談を受ける。				健康相談事業を実施する。			
指標設定 ③	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				健康相談者数				定例・定例外の健康相談実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	122%				71%				483%			
	目標(見込み)	78	78	78	78	4,000	4,000	4,000	4,000	136	136	136	136
	実績	96	94.08	92.84	95.14	420	571	1,336	2,825	288	437	591	657
ロジックモデル④		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が訪問指導を受ける。				訪問指導事業を実施する。			
指標設定 ④	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				訪問指導延べ人数				訪問指導実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	122%				307%				307%			
	目標(見込み)	78	78	78	78	67	67	67	67	67	67	67	67
	実績	96	94.08	92.84	95.14	85	82	74	206	85	82	74	206

ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が住民健康診査を受ける。				住民健康診査事業を実施する。			
指標設定⑤	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				住民健康診査40歳以上の受診率 【算出式:受診者数/対象者数×100】				実施医療機関数			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	78	78	78	78	11.80	12.30	12.80	13.30	125	125	125	125
	実績	96	94.08	92.84	95.14	8	9.60	9.45	9.37	127	125	131	124
	達成度	122%				70%				99%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.54
再任用	0.20
任期付職員	0.20
会計年度任用職員	0.25
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,786	12,890	14,122		
	会計年度任用職員	709	1,486	999		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,495	14,376	15,121		
	物件費計	10,099	11,222	10,971	12,306	89.2%
	歳出計	22,594	25,598	26,092		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	3,365	4,015	4,290	7,804	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	200	0	0	
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	3,365	4,215	4,290	7,804
	一般財源(物件費に充当されるもの)	6,734	7,007	6,681	4,502	

5. 総括的分析

総括的分析	定例での相談、電話や窓口での相談に加え、イベントや訪問などによるアウトリーチの相談を継続して実施し、相談しやすい環境づくりができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、健康相談、健康教育等を実施し、市民が自己の健康について関心をもてるよう支援する。年に1回は健康診査を受けている市民が増えるよう、健康診査の重要性を周知すると共に、健康診査を受ける機会がない人には住民健診の受診を促す。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 151

事務事業名称	食育推進事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部				課	健康づくり課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	食育基本法、枚方市食育推進計画				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市食育推進計画審議会				
事業対象	メインターゲット	乳幼児から高齢者まで全ての市民			
	サブターゲット	生産者・教育機関・食品関係事業者等、食に関わる事業者			
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもから高齢者まで、一人ひとりが「食」に関する正しい知識と「食」を選択する判断力を身につけ、生涯にわたり健康寿命の延伸につながる健全な食生活を実践するとともに、家庭・教育機関・地域・生産者等が相互に連携し、ネットワークを築きながら市民活動としての食育の推進に取り組む。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市食育推進ネットワーク会議を開催し、関係機関・団体の情報の共有と連携を図り、食育を推進する。 ・枚方市食育推進ネットワーク会議及び関係機関・団体と連携し、食育の普及啓発を目的としたイベントを開催する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		食育に関する正しい知識が浸透し、健全な食生活が実践される。				各家庭や教育機関、地域等で幅広く食育に関する取り組みが実践される。				枚方市食育推進ネットワーク会議と連携し、食育推進に関する取り組みを実施する。			
指標設定	指標説明	朝食を欠食している小学生の割合【全国学力・学習状況調査による】				食に関する知識を啓発するための冊子「ひらかた食育Q&A」の実施数				枚方市食育推進ネットワーク会議の開催回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	0	0	12,000	12,000	12,000	12,000	3	3	3	3
	実績	-	6.6	6.2	6.8	10,836	10,650	12,700	10,750	2	2	2	2
	達成度	93%				90%				67%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		食育に関する正しい知識が浸透し、健全な食生活が実践される。				多くの市民が食育に関心を持つ。				食育の普及啓発を目的としたイベントを開催する。			
指標設定②	指標説明	朝食を欠食している小学生の割合【全国学力・学習状況調査による】				ひらかた食育カーニバル参加者アンケートで「食育に関心がある」と回答した人の割合【算出式:食育に関心があると回答した人/アンケート回答者×100】				ひらかた食育カーニバル参加者数(延べ人数)			
		単位		%		単位		%		単位		人	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	0	0	0	80	80	80	80	6,000	6,000	6,000	6,000
	実績	-	6.60	6.20	6.80	0	96	98	97	0	32,175	19,009	8,486
	達成度	93%				121%				141%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.85
再任用	0.15
任期付職員	0.15
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	12.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	15,085	14,218	16,079		
	会計年度任用職員	529	695	226		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	162	314		
	人件費計	15,614	15,075	16,619		
物件費計	1,736	3,999	4,353	4,567	95.3%	
歳出計	17,350	19,074	20,972			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)	1,736	3,999	4,353	4,567		

5. 総括的分析

総括的分析	食育推進ネットワーク会議の活動として、ひらかた食育Q&Aや食育リーフレットを作成し、幼稚園・保育所(園)をはじめ、小中学校、地域コミュニティなど広く市民に配付を行った。食育カーニバルについては、Webでの特設サイトの他に集合形式での講演会を開催するなど、開催方法を工夫したが、閲覧回数が伸びず、参加人数が少なくなっている。また、第3次枚方市食育推進計画の最終評価を行い、食育の現状を評価すると共に、第4次食育推進計画を策定した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	デジタル化の推進など情報発信の方法を工夫し、多くの市民に食育への関心をもってもらえるよう、食育推進の取組を進めていく。また、第4次枚方市食育推進計画において、「1日のうち2食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている人の増加」を優先課題として取り組むとしたため、アウトカムの見直しが必要。

事務事業名称	特定健康診査・特定保健指導事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	健康福祉部				課	健康づくり課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち												
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち												
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2008(H20)年度、2009(H21)年度(人間ドック費用助成)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、枚方市国民健康保険被保険者人間ドック受診費用助成要綱				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者			
	サブターゲット	30歳以上40歳未満の国民健康保険被保険者			
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	健診受診により糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防する				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームに着目した健康診査の実施および健診結果に基づく保健指導を実施している。 ・特定健康診査の対象者(40歳～74歳)について、特定健康診査の受診に代えて、人間ドックを受診した場合に費用の一部を助成する。※ 助成額 13,000円(特定健康診査項目の相当額) ・特定健康診査の集団健診(日曜日健診)での対象を30歳以上40歳未満にも拡充して実施し、生活習慣病のリスクがある場合は保健指導を実施。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	健診受診により糖尿病等の生活習慣病の早期発見・重症化予防ができる。				アウトプット (活動結果)	特定健康診査の受診率が向上する。				インプット (活動)	特定健康診査の受診を勧奨する。			
	指標説明	生活習慣病の患者数				特定健康診査受診率 【算出式:受診者数/対象者数×100】				特定健康診査受診対象者数					
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	35,000	35,000	35,000	35,000	40	45	45	50	58,000	58,000	58,000	58,000		
	実績	33,262	33,058	32,915	28,671	30.10	31.20	33.30	34.70	56,612	54,826	50,924	47,425		
達成度	118%				69%				82%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		健診受診により糖尿病等の生活習慣病の早期発見・重症化予防ができる。				申請者に費用の一部を助成する。				特定健康診査の受診に代えて人間ドックを受診した場合に、費用助成の申請を受け付ける。			
指標設定②	指標説明	生活習慣病の患者数				人間ドックの受診に対する助成件数				人間ドックの受診に対する申請件数			
		単位		人		単位		件		単位		件	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	35,000	35,000	35,000	35,000	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	実績	33,262	33,058	32,915	28,671	1,210	1,296	1,433	1,338	1,210	1,296	1,433	1,338
達成度	118%				89%				89%				
ロジックモデル③		健診受診により糖尿病等の生活習慣病の早期発見・重症化予防ができる。				特定保健指導の利用率が向上する。				特定保健指導の利用を勧奨する。			
指標設定③	指標説明	生活習慣病の患者数				特定保健指導利用率 【算出式:利用者数/対象者数×100】				特定保健指導利用対象者数			
		単位		人		単位		%		単位		人	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	35,000	35,000	35,000	35,000	60	60	60	60	2,300	2,300	2,300	2,300
	実績	33,262	33,058	32,915	28,671	11.30	15.10	13.40	14.60	1,895	1,553	1,812	1,773
達成度	118%				24%				77%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.40
再任用	0.00
任期付職員	0.38
会計年度任用職員	1.90
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	19,194	15,041	12,870		
	会計年度任用職員	3,979	5,507	7,180		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	23,173	20,548	20,050		
	物件費計	250,978	254,913	247,463	331,766	74.6%
歳出計		274,151	275,461	267,513		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	87,419	254,913	247,463	251,084	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,497	1,497	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	88,916	256,410	247,463	251,084	
一般財源(物件費に充当されるもの)		162,062	0	0	80,682	

5. 総括的分析

総括的分析	特定健康診査の受診率は、新型コロナウイルス感染症前の受診率までほぼ改善した。今後も特定健康受診率・特定保健指導利用率向上に向けて個別勧奨を続けるとともに、積極的に市医師会との連携を図っていく。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	引き続き、特定健康診査の受診率向上や特定保健指導利用率向上を図り、生活習慣病予防対策を推進する。

事務事業名称	歯科口腔保健推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	歯科口腔保健の推進に関する法律、健康増進法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	歯と口腔の健康づくりに取り組むべき全市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				
事業概要	<p>平成28年度より口腔保健支援センターを設置し、歯科口腔保健施策を総合的に推進する。</p> <p>○歯周病検診事業(委託) 対象:満35・40・45・50・55・60・65・70歳 内容:問診・口腔内診査・口腔衛生指導等 料金:500円(市民税非課税世帯・生活保護受給者は検診料免除)</p> <p>○後期高齢者歯科健康診査事業(委託) 対象:75歳以上の生活保護受給者 内容:問診、口腔内診査、咀嚼能力評価、舌機能評価、嚥下機能評価等 料金:無料</p> <p>○在宅訪問歯科健康診査事業(直営) 対象:18歳以上で歯科健診を受診することが困難な方 内容:問診・口腔内診査・口腔衛生指導等 料金:無料</p> <p>○障害者(児)施設歯科健康診査(委託) 対象:障害者支援施設、障害者入所施設・通所施設に入所・通所する障害者(児) 内容:問診・口腔内診査・口腔衛生指導 料金:無料</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、集団健診については回数を増加し、1回あたりの対象者を減少させ密を避けて実施する。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				アウトプット (活動結果)	市民が歯周病検診を受ける。				インプット (活動)	歯周病検診事業を実施する。			
	指標説明	歯周病検診の要精密検査者の受診率 【算出式:要精密検査者のうち受診した人数/要治療者数×100】				歯周病検診受診率					歯周病検診実施機関数				
指標設定	単位	%				単位	%				単位	箇所			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	92	92	92	92	4	5	5	6	171	171	171	171		
実績	71.30	87.20	80.60	81.70	4.05	4.90	5.80	6.09	173	175	174	171			
達成度	89%				102%				100%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が枚方市後期高齢者歯科健康診査を受ける。				枚方市後期高齢者歯科健康診査事業を実施する。			
指標設定②	指標説明	歯周病検診の要精密検査者の受診率 【算出式:要精密検査者のうち受診した人数/要治療者数×100】				枚方市後期高齢者歯科健康診査受診者数				枚方市後期高齢者歯科健康診査実施機関数			
		単位		%		単位		人		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	20	20	20	20	117	117	117	117
	実績	71.30	87.20	80.60	81.70	1	5	14	12	173	137	139	136
	達成度	89%				60%				116%			
ロジックモデル③		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が在宅訪問歯科健康診査を受ける。				在宅訪問歯科健康診査事業を実施する。			
指標設定③	指標説明	歯周病検診の要精密検査者の受診率 【算出式:要精密検査者のうち受診した人数/要治療者数×100】				在宅訪問歯科健康診査受診者数				在宅訪問歯科健康診査実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	2	2	2	2	2	2	2	2
	実績	71.30	87.20	80.60	81.70	1	0	2	2	1	0	2	1
	達成度	89%				100%				50%			
ロジックモデル④		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が施設歯科健康診査を受ける。				障害者支援施設、障害者入所施設・通所施設等に入所・通所する障害者(児)に対して、施設歯科健康診査を実施する。			
指標設定④	指標説明	歯周病検診の要精密検査者の受診率 【算出式:要精密検査者のうち受診した人数/要治療者数×100】				障害者(児)施設歯科健康診査受診者数				障害者(児)施設歯科健康診査及び歯科健康教育実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	215	215	215	215	32	42	42	42
	実績	71.30	87.20	80.60	81.70	161	211	191	173	19	24	26	20
	達成度	89%				80%				48%			

ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				障害者の特性や対応など、さまざまな状態に応じた知識及び技術を得ることができる。				歯科医療技術者養成講座を実施する。			
指標設定⑤	指標説明	歯周病検診の要精密検査者の受診率 【算出式: 要精密検査者のうち受診した人数/要治療者数×100】				養成者数				実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	89%				40%				100%			
	目標(見込み)	92	92	92	92	24	40	40	40	4	4	4	4
	実績	71.30	87.20	80.60	81.70	0	0	17	16	0	0	4	4

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.80
再任用	0.15
任期付職員	0.15
会計年度任用職員	0.89
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.50

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,921	5,842	7,789		
	会計年度任用職員	2,544	3,178	814		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	90	162		
	人件費計	8,465	9,110	8,765		
	物件費計	17,058	19,008	19,766	21,908	90.2%
歳出計		25,523	28,118	28,531		
歳入	国庫支出金	5,154	5,734	5,501	5,501	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	3,993	4,870	5,194	8,173	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	9,147	10,604	10,695	13,674	
一般財源(物件費に充当されるもの)		7,911	8,404	9,071	8,234	

5. 総括的分析

総括的分析	歯周病検診については、受診勧奨はがきの工夫等により、若干、受診率が向上した。歯科口腔保健計画の最終評価及び第2次計画を策定し、課題や目指すべき目標が明らかになった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	歯科口腔保健計画の最終評価で明らかになった課題を踏まえ、かかりつけ医を持つ市民の増加等、第2次計画で設定した目標達成のための取組を進めるとともに、国の示す「国民皆歯科健診」に向けた生涯を通じた歯科健診(検診)の機会を確保するため、「歯周病検診」の対象者に20・25・30歳を加え、受診勧奨を行う。

事務事業名称	糖尿病性腎症重症化予防事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	国民健康保険加入者で糖尿病性腎症の重症化が懸念される人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	糖尿病性腎症の重症化を予防する				
事業概要	特定健康診査結果から抽出された対象者に、医療専門職が主治医と連携のうえ、腎機能の維持・温存を目的とした個別的な保健指導(糖尿病性腎症重症化予防プログラム)を実施するとともに、プログラム修了者に対して事後フォローを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
		糖尿病性腎症の重症化が予防される。	糖尿病性腎症の重症化が懸念される人の予防に対する意識が高まる。	糖尿病性腎症重症化予防事業を実施する。									
指標設定	指標説明	糖尿病性腎症重症化予防プログラム修了者の内、HbA1c値が維持・改善できた者の割合【算出式:(※HbA1c維持者+改善者)/プログラム修了者数×100】 ※HbA1c0.3%以上減少を改善、HbA1c0.3%以上増加を悪化とする。	糖尿病性腎症重症化予防プログラム修了後に、セルフモニタリングに関して行動変容した人の割合(無関心から関心に移行した人の割合)	糖尿病性腎症重症化予防プログラムの参加者数									
		単位	%	単位	%								
	指標種類	増加することが良いとされる指標											
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	70	70	70	70	100	100	100	100	30	30	30	30
達成度	82.30	73.70	78.90	75	100	100	100	100	34	25	23	15	
	107%				100%				50%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.35
再任用	0.00
任期付職員	0.20
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,185	3,943	3,719		
	会計年度任用職員	1,762	1,761	3,392		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,947	5,704	7,111		
物件費計	4,263	3,930	3,443	7,167	48.0%	
歳出計	9,210	9,634	10,554			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	6,108	3,930	3,443	3,404	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	6,108	3,930	3,443	3,404	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	3,763		

5. 総括的分析

総括的分析	糖尿病性腎症の重症化予防のためには、継続した取り組みが必要である。今後もプログラム修了者に対して、継続サポートを実施する。プログラム参加対象者へは、利用勧奨を行うとともに、参加を希望しない対象者へは保健指導を実施するなど、糖尿病性腎症の重症化予防に努める。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き糖尿病性腎症の重症化予防のために継続サポートをするとともに、プログラム参加者の効果的な指導のためPHRを活用した保健指導を取り入れていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	包括的支援事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部				課	健康づくり課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			R5		
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市地域包括支援センター運営等審議会				
事業対象	メインターゲット	65歳以上の高齢者			
	サブターゲット	医療・介護関係機関			
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者が尊厳を保持し、自立した日常生活を営むことができるよう、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する体制が機能している。				
事業概要	平成18年度から事業を開始し、当初は市内に7ヶ所の枚方市地域包括支援センターを設置する。平成21年度に6ヶ所のセンターを増設し、現在は市内に13ヶ所のセンターを設置する。保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士が中心となり総合相談支援・権利擁護等の業務を行ない、地域における高齢者の総合相談窓口として活動を行なう。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する体制が機能している。				高齢者の総合相談窓口として機能する。				地域包括支援センターを運営する。				
指標設定	指標説明	地域包括センター運営等審議会のうえで適正運営と判断された地域包括支援センターの割合。 【算出式: 適正運営とされた地域包括支援センター数/地域包括支援センター数×100】				地域包括支援センターの総合相談件数。 ※高齢者ひらかた高齢者保健福祉計画21(第8期)の総合相談支援件数。				地域包括支援センターの人員配置数(年度末配置人数)				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	25,250	28,500	28,500	28,500	28,500	83	90	90	90
達成度	100%				113%				113%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.34
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	10.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	16,495	12,265	18,474		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	342		
	人件費計	16,495	12,265	18,816		
物件費計	468,225	474,959	454,833	462,256	98.4%	
歳出計	484,720	487,224	473,649			
歳入	国庫支出金	192,056	172,725	172,728	173,671	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	96,026	86,359	86,362	86,837	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	79,996	1,147	1,213	1,225	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	368,078	260,231	260,303	261,733	
一般財源（物件費に充当されるもの）	100,147	214,728	194,530	200,523		

5. 総括的分析

総括的分析	高齢者人口増に伴い、地域包括支援センターの総合相談件数は増加した。高齢者を支援する上で、地域包括支援センターの果たす役割は大きく、引き続き市民の身近な相談窓口としての活動を、市としても支援する。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	継続実施

事務事業実績測定調書

R5調書番号 196

事務事業名称	生活支援体制整備事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2015(H27)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	65歳以上の元気な高齢者から要支援認定者等			
	サブターゲット	高齢者に関わる近隣・地域住民			
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業者だけでなく民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と住民が連携しながら、つながりや助け合いなど多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ること、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できる地域となっている。				
事業概要	<p>「元気づくり・地域づくりプロジェクト」として、介護予防・生活支援サービス事業や介護予防事業等の事業内容や地域活動の支援策に対する意見交換や検討を行うため事業者と住民とで構成する市全域を担当エリアとする第1層協議体の運営、小学校区を担当エリアとする第2層協議体の設置及び運営支援を行う。あわせて、生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を第1層協議体に配置し、第2層協議体への配置を支援し、第3層生活支援コーディネーターの養成と活動支援を行う。</p> <p>本市独自の生活援助訪問事業のサービス提供者である生活支援員の養成研修を実施する。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
ロジックモデル		「元気づくり・地域づくりプロジェクト」が推進され、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できる地域となっている。	第2層協議体の設置が促進する。	第1層協議体を開催する。
指標設定	指標説明	第2層協議体で実践するプラン達成率 【算出式:プラン数/達成したプラン数×100】	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める目標値である設置校区数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める目標値である開催回数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 校区	単位: 回
	目標(見込み)	R2: 100, R3: 100, R4: 100, R5: 100	R2: 40, R3: 42, R4: 43, R5: 44	R2: 3, R3: 3, R4: 3, R5: 3
	実績	R2: 100, R3: 90, R4: 90, R5: 100	R2: 42, R3: 42, R4: 42, R5: 42	R2: 2, R3: 2, R4: 2, R5: 3
達成度	100%	95%	100%	

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,314	12,812	15,001		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,314	12,812	15,001		
物件費計	26,177	52,174	49,506	53,913	91.8%	
歳出計	37,491	64,986	64,507			
歳入	国庫支出金	9,058	17,861	17,856	18,162	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	4,529	8,930	8,928	8,957	
	受益者負担（使用料、手数料）	10	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	3,791	88	84	508	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	17,388	26,879	26,868	27,627	
一般財源（物件費に充当されるもの）	8,789	25,295	22,638	26,286		

5. 総括的分析

総括的分析	第2層協議体及び地域ケア会議にて抽出された共通の課題解決に向けて、高齢者の外出しやすきように善意の椅子を置く「いすプロジェクト」を第1層協議体として全市的に取り組むこととなり、周知に努めた。生活支援員養成研修について、5回開催した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	コロナ禍が明けて地域の活動が始まりつつある時期をとらえて、再度第2層協議体の交流会を開催し、各地域での活動目的等を再確認し活性化が図れるように、再度第2層協議体の交流会を開催していく。

事務事業名称	在宅医療・介護連携推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2015(H27)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、人生の最期の迎え方について話し合える環境づくり、医療機関と介護事業所等の関係者の連携体制が構築されること。				
事業概要	<p>「地域ケア推進実務者連絡協議会」等既存の連携体制を活用しながら、医療・介護関係者を対象とした多職種連携の研修の継続・充実をはじめ、在宅医療・介護連携のための以下の取組みを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域の医療・介護の資源の把握 イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ウ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 エ 医療・介護関係者の情報共有の支援 オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援 カ 医療・介護関係者の研修 キ 地域住民への普及啓発 ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、人生の最期の迎え方について話し合える環境づくりがされている。				医療・介護の連携体制を構築するための取組みを実施する。				地域ケア推進実務者連絡協議会を開催する。			
指標設定	指標説明	「人生会議ガイド」配布時のアンケートにて、「話し合おうと思う」「会話の中で伝えようと思う」と回答した割合				市民向け及び専門職向けの講座開催数(市全域対象分)				地域ケア推進実務者連絡協議会等の開催数			
		単位		%		単位		回		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	108%				20%				121%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,443	7,187	9,474		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,443	7,187	9,474		
物件費計	42,661	42,469	43,230	44,766	96.6%	
歳出計		49,104	49,656	52,704		
歳入	国庫支出金	16,425	20,961	21,276	23,675	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	8,212	10,481	10,638	11,826	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	9,812	2,917	3,119	3,148	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	34,449	34,359	35,033	38,649	
一般財源（物件費に充当されるもの）		8,212	8,110	8,197	6,117	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>多職種連携の研修等を年間通じて実施し、在宅医療・介護連携における課題の共有を図ることができた。また、対象者が人生の最期の迎え方を考えることができるような関わり方を医療・介護専門職が実践できるようにするため、専門職向けACP導入の手引きの作成に向けた検討を行うことができた。</p> <p>一方で、市民への周知啓発が不十分であるため、効果的な周知方法や内容を検討する必要がある。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	<p>終活支援事業と連動させながら、エンディングノートや人生まるわかりガイド等の媒体をよりわかりやすく、各人のニーズにも適応させやすいものへ整理・改編する。また、医療・介護専門職がACP導入・推進がしやすくなるよう、手引きの修正、理解の促進に向け関係機関と協働していく。</p>

事務事業実績測定調査

事務事業名称	終活支援事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	市民サービス	区分	一般事務事業
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	自らの老後の暮らし方に関心や心配がある高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	住み慣れた地域で自らが望む暮らしを送れるよう、希望や心配事を家族や友人たちと話し合えることができる。				
事業概要	<p>在宅医療・介護連携推進事業と連携しながら、高齢者一人ひとりが自らの望む老後を送れるよう支援していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンディングノートの配布及び啓発事業。 ・人生会議まるわかりガイドの配布及び人生会議の啓発事業。 ・アンケート調査などにより高齢者の終活に対するニーズを把握し、必要な支援を行っていく。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																																										
ロジックモデル		終活に対する意識が向上し、住み慣れた地域で自らが望む暮らしを送れるようエンディングノートを活用したり、家族会議で家族や友人たちと老後について話し合う機会ができる。	終活について興味を持ち、終活に関する講演会等に参加する。	エンディングノート・人生会議まるわかりガイドを配布し、終活支援等の周知を行う。																																										
指標設定	指標説明	講演会等への参加者アンケートで、家族会議等でエンディングノートや人生会議まるわかりガイドを活用し、「役に立った」「良かった」と回答した割合。	終活に関する講演会等への参加人数。	エンディングノート・人生会議まるわかりガイドの配布部数																																										
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																										
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>50</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>97.90</td> <td>96.50</td> </tr> </table>	単位	%	R2	R3	R4	R5	-	-	50	55	-	-	97.90	96.50	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>100</td> <td>120</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>397</td> <td>577</td> <td>589</td> </tr> </table>	単位	人	R2	R3	R4	R5	-	100	120	140	-	397	577	589	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>冊</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>1,100</td> <td>1,200</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>600</td> <td>5,100</td> <td>6,505</td> <td>2,140</td> </tr> </table>	単位	冊	R2	R3	R4	R5	-	1,100	1,200	1,300	600	5,100	6,505	2,140
	単位	%																																												
R2	R3	R4	R5																																											
-	-	50	55																																											
-	-	97.90	96.50																																											
単位	人																																													
R2	R3	R4	R5																																											
-	100	120	140																																											
-	397	577	589																																											
単位	冊																																													
R2	R3	R4	R5																																											
-	1,100	1,200	1,300																																											
600	5,100	6,505	2,140																																											
達成度	175%		421%		165%																																									

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.15
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,964	1,172	1,184		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,964	1,172	1,184		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	1,964	1,172	1,184			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	評価指標については目標達成しているが、エンディングノート等を入手したり、講演会に参加した後で、実際に周囲の人たちと老後や人生の最期の迎えかたについて話し合いをしているかは不明である。また、人生会議の周知がまだ不十分であるとともに、終活に対するニーズは個別性が高いことから、効果的な周知方法や内容を検討する必要がある。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	在宅医療・介護連携推進事業と連動させながら、エンディングノートや人生まるわかりガイド等の媒体をよりわかりやすくそれぞれのニーズにも適応させやすいものへ整理・改編する。また、周知する機会や場を増やす。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	介護予防・生活支援サービス事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-3.介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン(国)、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	要支援認定を受けた者等			
	サブターゲット	介護事業者等			
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	要支援者等の能力を最大限いかしつ、要支援者等の状態等に応じたサービスが選択でき、状態の改善もしくは維持(悪化の防止)できるサービスを効果的かつ効率的に実施することで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	<p>【1.訪問型サービス】 ①予防訪問事業(現行相当サービス)、②生活援助訪問事業(A・基準緩和サービス)、③活動移動支援事業(B・住民主体サービス)、④通院等移動支援事業(D・移動支援サービス)</p> <p>【2.通所型サービス】 ①予防通所事業(現行相当サービス)、②教室型通所事業(A・基準緩和サービス)</p> <p>【3.その他の生活支援サービス】 ①リハ職訪問通所指導事業(自立支援サービス)、②リハ職行為評価事業(自立支援サービス)、③栄養士派遣指導事業(自立支援サービス)</p> <p>【4.介護予防ケアマネジメント】 要支援認定者等の自立支援・重度化防止を目的に上記の事業を整備し、効果を分析・検証しながら効果的かつ効率的な事業実施に努めている。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	要支援者等が役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感する。				アウトプット (活動結果)	要支援者等がサービスを受ける。				インプット (活動)	サービスを設定し、実施方法(指定・直営・委託・補助)を決定する。			
	指標説明	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定めるリハ職訪問通所指導事業利用者の状態改善率(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定) 【算出式: 目標達成者数/事業利用者数×100】				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める事業費(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定めるサービスの種類(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	60	90	90	90	1,425,870	1,574,000	1,649,000	1,727,000	9	9	9	9		
	実績	94	93.50	98.75	91.40	842,870	872,895	864,570	852,410	9	9	9	9		
達成度	102%				49%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.92
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,957	10,077	15,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,957	10,077	15,158		
物件費計	872,895	864,570	852,410	1,627,828	52.4%	
歳出計	881,852	874,647	867,568			
歳入	国庫支出金	357,682	352,986	379,093	476,839	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	141,945	146,781	154,809	206,610	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	140	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	267,809	260,126	375,177	447,739	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	767,436	759,893	909,219	1,131,188	
一般財源（物件費に充当されるもの）	105,459	104,677	0	496,640		

5. 総括的分析

総括的分析	利用者数の少ない事業についての事業内容見直しを行うとともに、円滑な事業実施のために関係機関や専門職等との連携に努めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	効果的・かつ効率的な事業構築に向け、教室型通所事業の実施場所を3か所から5か所に増加等を行うことで、より身近に利用しやすい事業内容に変更する。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 230

事務事業名称	介護予防普及啓発事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部				課	健康づくり課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち											
	実行計画名	9-3.介護事業の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の第1号被保険者(65歳以上の高齢者)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	加齢に伴う心身機能の変化等を理解し、年を重ねても心豊かに、常に役割や目標を持って元気に生活でき、つながりを持つことで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	<p>虚弱な高齢者(フレイル)を把握するため地域に出向いて健康相談を実施し、必要に応じて訪問指導を実施する。</p> <p>介護予防(フレイル予防)等に関する動機付けを目的とした単発の事業、外出や健康づくりの習慣化を目的とした事業を開催し、介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を行う。具体的には各種講座を開催する高齢者健康づくりプロジェクト、地域で気軽に介護予防の意識づくりの場の開催を地域包括支援センター等に委託を行い実施している。また、介護予防に興味・関心がない層への効果的なアプローチ方法として検証を続けている商業施設や駅前の公園等でのイベント(健活フェスタ)を開催する。</p> <p>令和4・5年度は、PFS(成果連動型民間委託契約方式)を用いて介護予防に資する文化的活動を実践するグループの活動支援体制の構築を図る。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		介護予防への意識が高まり、役割や生きがいを実感する。				介護予防に関する基本的な知識が普及する。				介護予防に関する啓発事業を実施する。			
指標設定	指標説明	健活フェスタ参加者の健康意識の向上率【算出式:向上した人数/参加者全体数×100】				「健活フェスタ」や身近な場所で開催する介護予防教室等への参加者数				介護予防に興味・関心がない層への効果的なアプローチ方法である「健活フェスタ」の開催回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	30	60	60	60	25,000	25,000	25,000	25,000	1	1	1	1
	実績	85	74	73	84	5,273	8,357	14,024	17,379	1	1	1	1
	達成度	140%				70%				100%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		介護予防への意識が高まり、役割や生きがいを実感する。				対象者が訪問指導を受ける。				地域に出向いてフレイル(虚弱)な高齢者を把握する。			
指標設定②	指標説明	健活フェスタ参加者の健康意識の向上率【算出式:向上した人数/参加者全体数×100】				訪問指導延べ人数				健康相談実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	30	60	60	60	-	67	67	67	-	72	72	72
	実績	85	74	73	84	-	82	74	206	-	370	591	657
	達成度	140%				307%				913%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,921	9,374	11,843		
	会計年度任用職員	496	147	129		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	38	48	0		
	人件費計	11,455	9,569	11,972		
物件費計	24,346	34,305	30,001	70,041	42.8%	
歳出計	35,801	43,874	41,973			
歳入	国庫支出金	9,979	14,604	13,318	16,751	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	3,960	6,072	5,438	7,257	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	81	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	7,697	10,872	13,260	16,268	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	21,636	31,548	32,097	40,276	
一般財源(物件費に充当されるもの)	2,710	2,757	0	29,765		

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度から5年度の2か年にわたる本市独自の事業として、PFSを活用した「いくつになっても誰もが主役の介護予防事業」を実施した。介護予防教室等の参加者数が増えたことで介護予防に関する知識の普及を行うことができ、指標設定の目標を概ね達成できた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	教室や講座への参加者の増加にとどまらず、自主的に社会活動や健康づくりに取り組めるよう地域を基盤にした継続的な介護予防活動ができる支援体制を構築していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 231

事務事業名称	地域介護予防活動支援事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-3.介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の第1号被保険者(65歳以上の高齢者)、第1号被保険者を中心としたグループ			
	サブターゲット	医療・介護関係機関			
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	加齢に伴う心身機能の変化等を理解し、年を重ねても心豊かに、常に役割や目標を持って元気に生活でき、自主的な活動を支援することにつながりを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	健康講座や介護予防に関するボランティアリーダーを「生き生き健康スポーツレクリエーションリーダー」として、枚方市老人クラブ連合会と協力し養成のための研修を実施していたが、平成29年度から「ひらかた元気くらわんか体操」普及リーダー講習に変更した。また、「ひらかた元気くらわんか体操」を自主的に週1回以上集まって実践するグループを増やし、継続するモチベーションを維持するための支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		「ひらかた元気くらわんか体操」の普及を通じて、高齢者のつながりが育まれる。				「ひらかた元気くらわんか体操」実践グループが増加する。				「ひらかた元気くらわんか体操」普及リーダー養成講座を開催する。			
指標設定	指標説明	主観的健康感が良い人の割合 【算出式:主観的健康感が良い人数/参加者全体数×100】				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「ひらかた元気くらわんか体操」実践グループ数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				「ひらかた元気くらわんか体操」を普及するリーダーを養成するための講座の開催回数			
		単位		%		単位		グループ		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	30	30	30	30	190	300	310	320	3	3	3
	実績	85	90	94	88	301	292	292	293	3	3	1	9
	達成度	293%				92%				300%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,857	7,812	10,264		
	会計年度任用職員	143	80	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,000	7,892	10,264		
物件費計	9,816	9,851	9,303	22,216	41.9%	
歳出計	17,816	17,743	19,567			
歳入	国庫支出金	4,024	2,642	3,541	3,777	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	1,597	1,595	1,845	1,949	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	3,011	105	109,708	115,597	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	8,632	4,342	115,094	121,323	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1,184	5,509	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	第3の介護予防ツール「ひらかた夢かなえるエクササイズ」教室を225回開催し、延べ4,237人（オンライン参加：2,590人、会場参加：1,647人）の参加があり、グループ支援を行った。概ね想定通りの指標達成度であった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	ひらかた夢かなえるエクササイズの普及とともに、ノルディック・ワーキング実践グループ（くらわんかウォーカーズ）とひらかた元気くらわんか体操実践グループの増加に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 241

事務事業名称	後期高齢者の保健事業(一体的実施分)										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法、介護保険法				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	75歳以上の後期高齢者医療制度の被保険者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を行うことで、住み慣れた地域で健やかに自立した生活を送ることができる。				
事業概要	<p>広域連合との委託契約に基づいて保健師等の医療専門職を配置し、一体的実施等の保健事業を行うために国民健康保険データベースシステム(KDBシステム)を活用し、医療レセプト・健診・介護レセプトのデータ等の分析を行い、一体的実施の事業対象者の抽出、地域の健康課題の把握、事業の企画・調整・分析・評価等を行う。</p> <p>また、地域の関係機関と連携し、通いの場等への積極的な関与や個別訪問等の支援を行う。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		多くの後期高齢者が、適切な医療、介護サービスや、必要な保健指導等の健康支援をポピュレーションアプローチ(ハイリスクアプローチを含む)の機会でつながる。				後期高齢者へ高齢者の特性や地域特性を踏まえた事業を実施する				
指標設定	指標説明	アプローチが行えた後期高齢者数(延べ人数)				ポピュレーションアプローチやハイリスクアプローチを実施した圏域数				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)								
		実績								
達成度	168%				100%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.54
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,857	7,812	7,895		
	会計年度任用職員	0	5,646	4,355		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,857	13,458	12,250		
物件費計	115	9,865	6,647	13,296	50.0%	
歳出計	7,972	23,323	18,897			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	6,502	22,140	17,690	13,257	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	6,502	22,140	17,690	13,257	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	39		

5. 総括的分析

総括的分析	高齢者の生活習慣病対策・フレイル対策を目的とした高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、ハイリスクアプローチ（健康状態不明者等対策）およびポピュレーションアプローチ（通いの場等への積極的な関与等）を地域包括支援センターと連携しながら本市全域において実施した。ハイリスクアプローチだけでなく、ポピュレーションアプローチから把握した高齢者の状況に合わせて、必要な制度やサービスへの接続、個別支援の実施など継続した関わりを行うことができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地域包括支援センターや他関係機関と連携し、市内全域での取り組みを継続していく。ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチとを連動しながら実施していくことで、フレイル予防の活動が自然と生活の中に取り入れられる環境の整備に努めるとともに、評価指標の設定や把握方法については検討を重ね、より市の状況が把握しやすいものにしていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 247

事務事業名称	がん対策事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	健康福祉部				課	健康づくり課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち												
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち												
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法				
関係補助金名称	がん対策事業補助金、枚方市がん患者補整具購入費補助金	サンセット	2023年度、2022年度	～	2025年度、2024年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市民全般			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、がんになっても心豊かにいきいきと暮らすことができる				
事業概要	<p>○がんに関する知識の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 無料クーポン券の送付を含むがん検診の受診勧奨時や、様々な機会を捉えての健康教育及びホームページやSNS等を通じての情報発信により、がんに関する知識の普及啓発を行う。 <p>○各種がん検診等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康増進法に基づく検診の実施：大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、胃がん検診、肺がん検診、肝炎ウイルス検診 市独自施策による検診等の実施：前立腺がん検診、ピロリ菌検査 各がん検診等について受診率の向上と共に、がん検診の質の維持向上を目指す。 <p>○がん患者補整具購入費助成事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> がん治療の副作用等による外見上の変化に伴う精神的なストレスや、通学・仕事を続けることへの不安の軽減及び、治療等に伴う経済的負担の軽減を目的として、抗がん剤等の使用に伴う外見変貌への補完となる、ウィッグ等の補整具購入費の一部助成を行う。 地域がん診療拠点病院及び大阪府がん診療拠点病院のがん相談支援センターとの連携を図り、がん患者やその家族のニーズ把握を行い、求められる支援について検討していく。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																																													
ロジックモデル		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	市民が大腸がん検診を受ける	大腸がん検診を実施する																																													
指標設定	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】 (次年度にかけての追跡を要するため表記は前年度の数値)	大腸がん検診受診率(職場等で実施されているものを含む)	大腸がん検診の実施医療機関																																													
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																													
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		単位	%	R2			R3			R4			R5			<table border="1"> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		単位	%	R2			R3			R4			R5			<table border="1"> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>箇所</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		単位	箇所	R2			R3			R4			R5		
		単位	%																																														
R2																																																	
R3																																																	
R4																																																	
R5																																																	
	単位	%																																															
R2																																																	
R3																																																	
R4																																																	
R5																																																	
	単位	箇所																																															
R2																																																	
R3																																																	
R4																																																	
R5																																																	
達成度	96%		99%																																														

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が乳がん検診を受ける				乳がん検診を実施する			
指標設定②	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】 (次年度にかけての追跡を要するため表記は前年度の数值)				乳がん検診受診率				乳がん検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	77	77	77	77	-	22.1 (45)	22.1 (45)	22.1 (45)	-	8	8	8
	実績	68.90	73.10	71.20	74.10	10	9.20	9.52	9.35	-	8	8	8
達成度	96%								100%				
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が子宮頸がん検診を受ける				子宮頸がん検診を実施する			
指標設定③	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】 (次年度にかけての追跡を要するため表記は前年度の数值)				子宮頸がん検診受診率				子宮頸がん検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	77	77	77	77	-	29.3 (45)	29.3 (45)	29.3 (45)	-	16	16	16
	実績	68.90	73.10	71.20	74.10	13.40	13.30	13.33	13.58	-	16	17	17
達成度	96%								106%				
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が胃がん検診を受ける				胃がん検診を実施する			
指標設定④	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】 (次年度にかけての追跡を要するため表記は前年度の数值)				胃がん検診受診率				胃がん検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	77	77	77	77	-	6.6 (40)	6.6 (40)	6.6 (40)	-	50	50	50
	実績	68.90	73.10	71.20	74.10	3.50	2.60	2.91	3	-	45	48	49
達成度	96%								98%				

ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が肺がん検診を受ける				肺がん検診を実施する			
指標設定⑤	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】 (次年度にかけての追跡を要するため表記は前年度の数值)				肺がん検診受診率				肺がん検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	77	77	77	77	-	13.3 (40)	13.3 (40)	13.3 (40)	-	130	130	130
	実績	68.90	73.10	71.20	74.10	9.40	9.70	10.24	10.54	-	131	132	131
達成度	96%								101%				
ロジックモデル⑥		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が肝炎ウイルス検診を受ける				肝炎ウイルス検診を実施する			
指標設定⑥	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】 (次年度にかけての追跡を要するため表記は前年度の数值)				肝炎ウイルス検診受診者数				肝炎ウイルス検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		人		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	77	77	77	77	-	7,000	7,000	3,500	-	150	150	150
	実績	68.90	73.10	71.20	74.10	6,780	6,133	5,427	2,889	-	150	149	148
達成度	96%				83%				99%				
ロジックモデル⑦		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が前立腺がん検診を受ける				前立腺がん検診を実施する			
指標設定⑦	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】 (次年度にかけての追跡を要するため表記は前年度の数值)				前立腺がん検診受診率				前立腺がん検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	77	77	77	77	-	10.50	10.50	10.50	-	153	153	153
	実績	68.90	73.10	71.20	74.10	8.90	9.20	9.68	9.51	-	153	152	150
達成度	96%				91%				98%				

ロジックモデル⑧		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民がピロリ菌検査を受ける				ピロリ菌検査を実施する			
指標設定⑧	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】 (次年度にかけての追跡を要するため表記は前年度の数値)				ピロリ菌検査受診者数				ピロリ菌検査実施医療機関数			
		単位		%		単位		人		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	96%				53%				96%			
	目標(見込み)	77	77	77	77	-	1,800	1,800	1,800	-	130	130	130
	実績	68.90	73.10	71.20	74.10	886	1,339	956	959	-	121	127	125
	達成度	96%				53%				96%			
ロジックモデル⑨		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				申請に対して、補助金を交付する。				補助金を必要とする対象者が申請する。			
指標設定⑨	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】 (次年度にかけての追跡を要するため表記は前年度の数値)				交付件数				申請件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	96%				94%				94%			
	目標(見込み)	77	77	77	77			205	205			205	205
	実績	68.90	73.10	71.20	74.10			174	193			174	193
	達成度	96%				94%				94%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.85
再任用	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.79
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	20,978	17,421	15,865		
	会計年度任用職員	642	1,351	1,094		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	21,620	18,772	16,959		
	物件費計	401,010	413,162	407,501	446,260	91.3%
	歳出計	422,630	431,934	424,460		
歳入	国庫支出金	3,270	3,374	2,927	2,970	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	21,690	18,010	10,468	17,534	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	24,960	21,384	13,395	20,504	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	376,050	391,778	394,106	425,756	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられたこともあり、また、市広報での特集記事や枚方市医師会と連携してがん検診受診率アップ月間を設けるなどの取組により、がん検診の受診率は概ね横ばいまたは若干の伸びが見られた。 アウトカム指標としている精密検査受診率は、上昇してきている。ただし、精密検査受診率については次年度にかけて追跡する必要があるため、表記されているのは前年度の値となっている点に注意を要する。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	引き続き、枚方市医師会等と連携し、がん検診の受診率アップにつながるような取組を行うとともに、国の指針に基づかない検診については、見直し等の検討を行う。

事務事業名称	高齢者居場所支援事業													
測定年度	2023 (R5) 年度				部	健康福祉部				課	健康づくり課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち												
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち												
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005 (H17) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市高齢者居場所づくり補助金交付要綱、枚方市街かどデイハウス事業補助金交付要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	65歳以上の高齢者、65歳以上の高齢者を中心としたグループ			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域の中で自由に集い、交流することができる場所を増やすことで、社会参加や介護予防活動につながり、助け合いや支え合いの活動へ発展することにつながり、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	平成29年8月から高齢者居場所づくり事業として、居場所の登録と公開、実施場所の改修費用等の一部についてお達者基金を財源として補助金交付を実施している。なお、平成17年度から平成28年度までは、お達者基金を活用し、「自分できづこう健康ライフ事業」として広報ひらかたで実施事業者を公募し、事業者の企画について、目的や内容を選定部会で審議の上、実施事業者を選定。選定された企画内容のうち講師謝礼の費用を市が負担することで介護予防教室の実施を支援していた。また、高齢者居場所や街かどデイハウスなど、多様な高齢者の通いの場を支援する事業として実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	高齢者の社会参加や介護予防が促進する。				アウトプット (活動結果)	高齢者居場所の周知により、活動が活発化また継続する。				インプット (活動)	高齢者の通いの場である高齢者の居場所を把握し、周知する。			
	指標説明	通いの場への参加率 【算出式: 通いの場への実参加者数 / 高齢者人口 × 100】				活動実績を求める高齢者居場所と街かどデイハウス事業の延べ参加者数				活動を把握したうえで、公開の同意を得た場所の数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	6	8	8	8	100,000	110,000	110,000	110,000	100	120	120	120		
	実績	6	5.70	5.86	5.83	61,996	56,192	86,037	91,466	116	111	110	106		
達成度	73%				83%				88%						

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,093	8,046	9,869		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,093	8,046	9,869		
	物件費計	32,652	32,180	29,917	40,000	74.8%
	歳出計	40,745	40,226	39,786		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	32,652	32,180	29,917	40,000	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで自粛していた活動を再開する運びとなった。運営側の高齢化等で登録廃止の申出があった際は、まずは廃止以外の選択肢を提示し、活動継続方法について相談に応じた。また、代表者の死去等により連絡がとれない拠点には、地域包括支援センターと連携し、代表者変更や廃止の手続きをした。その結果、数年間の活動自粛期間があったものの、登録数はR2年度末から8.6%の減少にとどめることができた。今後も居場所が地域の健康づくりの拠点となるべく、活動継続に資する情報提供を行う等、支援を継続する。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	令和6年度より、高齢者が身近な場所で介護予防につながる活動に取り組むことができる新たな「介護予防拠点」として、「街かど健康ステーション」を設置予定。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 920

事務事業名称	健康づくり課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	健康づくり課に在籍する職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	健康づくり課所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
指標設定	指標説明				
	指標種類				
	指標数値	目標 (見込み)			
		実績			
	達成度				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,857	7,812	7,895		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,857	7,812	7,895		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	7,857	7,812	7,895			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	課の文書・人事・財務その他庶務事務の総括、課の予算編成及び執行管理を適切に実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も適正かつ効率的な執行に努める。